

## 町田リサイクル文化センター周辺地区連絡会（第1回）

### 議事要録

- 日時 2013年10月30日（水）午後6時30分～午後8時50分
- 場所 町田リサイクル文化センター
- 出席 委員：高橋会長、小林（静）副会長、茂野委員、北原委員、大谷委員、福岡委員、臼井委員、篠島委員、彦根委員、小林（哲）委員、歌代委員、八木委員、佐藤委員、守屋委員
- 欠席 なし
- 事務局  
内山環境資源部長、田後循環型施設建設担当部長  
循環型施設整備課：水島課長、黒須担当係長、久保主事、  
深澤担当係長、内海主任、高田担当係長  
環境政策課：古木次長、高梨担当課長  
資源循環課：山田課長、西川担当課長  
3R推進課：佐藤次長、窪倉3R普及担当課長  
コンサルタント：株式会社日建設計
- 傍聴者 5名
- 配布資料  
1-1：町田市ごみの資源化施設地区連絡会設置要綱  
1-2：3地区連絡会の位置付け  
2-1：これまでの町田リサイクル文化センター周辺地区における説明会でのご意見・ご要望  
3-1：資源循環型施設整備計画の概要  
3-2：町田リサイクル文化センター施設計画の考え方（案）  
4-1：今後の進め方（案）  
参考資料①：説明会の会議要旨  
参考資料②：選定のながれ

## 1. 委嘱式

委嘱式、開会のあいさつ、委員紹介、会長・副会長の選出を行った。

会長にはもみじ台町会長の高橋清人委員、副会長に忠生中央町会長の小林清委員が選出された。会長から挨拶を頂いた。事務局の紹介を行った。

## 2. 施設・周辺整備協議会の検討スケジュールについて

### ○議題1 町田市ごみの資源化施設地区連絡会設置要綱、3 地区連絡会の位置づけ

資料1-1、1-2について事務局より説明した。田後部長より補足説明としてリサイクル文化センター周辺地区の意見は地区連絡会から整備推進本部へ報告すること、環境資源部で検討する事項は、新しい施設計画に関する部分であることを説明した。

(以下、質疑)

- ・ **高橋会長** 資料1-2の体制図に関する説明が、事務局と田後担当部長の説明で異なっている。地区連絡会から関連まちづくり会議に報告を示す矢印3とは別に、整備推進本部に直接報告する矢印を追加した体制図を作成してほしい。また、地区連絡会で出た意見を関連まちづくり会議に報告する必要があるのか、「整備推進本部」に直接報告するかについてはルートを2つ設定してほしい。できれば、地区連絡会の中で協議して、意見をどこに報告するか決めてほしい。
- ・ **田後担当部長** リサイクル文化センター周辺地区連絡会の意見として受ける。他に相原地区、上小山田地区の連絡会も立ち上げるため、本日の意見を踏まえ、市として再検討する。
- ・ **彦根委員** 吸い上げる意見は地区連絡会のみだけなのか。町内会からの意見の扱いはどうなるのか。
- ・ **高橋会長** 各町内会からの意見、特にまちづくりに関する意見は、整備推進本部に直接報告することになる。なお、各町内の要望は、地区連絡会で報告していただけたという理解でよいか。
- ・ **田後担当部長** 地区連絡会で協議した内容を整備推進本部に報告する窓口は環境資源部となる。町内会等から出た意見は、環境資源部から地区連絡会で報告することになるが、整備推進本部に直接報告(矢印1)することもある。
- ・ **小林副会長** 所掌範囲にまちづくりに関する事項が含まれていないが、どのように考えればよいか。
- ・ **内山部長** 所掌事務の(3)に含んでいるものと考えている。
- ・ **小林副会長** まちづくりに関する事項は周辺住民にとって特に関心のあることであり、要綱内に明記してほしい。
- ・ **内山部長** その方向で調整する。

### ○議題2 これまでの町田リサイクル文化センター周辺地区における説明会でのご意見・ご要望

資料2-1について事務局より説明した。

- ・ **高橋会長** 資料2-1及び参考資料①は、これまでの説明会で出た意見や要望である。今後、地区連絡会でもいろいろな意見や要望が出てくると思う。
- ・ **彦根委員** 2013年1月に町内会で説明した内容は資料2-1に載っていないようだが、町内会、自治会での説明の取扱いはどのような位置づけなのか。
- ・ **田後担当部長** ホームページや広報で事前に説明会の開催を告知して開催し、そ

の後結果をホームページに掲載したもののみ載せている。町内会、自治会単位を対象に懇話会という形で開催したものについては、今回の資料には掲載していない。なお、今日参加されている委員の方が所属されている町会、自治会の意見は今後の連絡会で配布資料として添付する。

- ・ **彦根委員** 資料2-1に記載のある忠生地区の説明会に凶師町内会、常盤台町内会が含まれていない。どのような経緯でこうなっているのか説明してほしい。
- ・ **田後担当部長** 説明会のお声掛けはしているが、経緯詳細は確認し、報告する。

### ○議題3 資源循環型施設整備計画の概要 町田市リサイクル文化センター施設計画の考え方

資料3-1を用い資源循環型施設整備計画の概要、参考資料②を用い候補地選定の経緯について事務局より説明した。

(以下、質疑)

- ・ **茂野委員** (参考資料② p. 5に記載されている、候補地選定のための評価項目となっている) 第三章の周辺道路の整備状況をもう少し詳しく教えてほしい。
- ・ **事務局** 周辺道路の整備状況は、歩行者の安全確保及び渋滞緩和等の対策が交通に影響するため評価項目として取り上げている。現地踏査により候補地に面している道路の状況を把握し、2車線道路、歩道が周辺にあるかを確認している。また、多摩地域における都市計画道路の整備方針で示されている整備予定の道路も確認している。点数については、周辺道路が整備されている状況、または整備される予定があれば望ましいとされており、満点の6点は候補地が歩道を持つ2車線道路に面している場合、4点は候補地が歩道を持たない2車線道路に面している場合、2点は前面が1車線道路、あるいは整備予定の道路が候補地に面している場合、0点はそれ以外としている。
- ・ **茂野委員** よく分からない。渋滞状況とは違うのか。
- ・ **高橋会長** 渋滞状況とは違う。立派な道路がある場所の点数が高くなっている。今の説明では論理的かつ科学的に評価がされたような話になっているが、評価項目、評価点数のつけ方等については色々な問題がある。しかし、このような手順を踏まないと何らかの評価が出来なかったということは事実である。選定に至る経緯については、過去の議論であるため内容を把握することは出来るが、過去の議論の内容をひっくり返すことは難しい。今後の議論のために役立てていきたいと考えている。

資料3-2を用い、施設計画の考え方についてコンサルタントより説明した。

(以下、質疑)

- ・ **高橋会長** 急に進入経路といった詳細な内容に関する説明がされたが、本来であれば敷地のどこに施設を配置した方が周辺にとって最善なのかについて説明すべきである。説明会でも配置に関する意見があったが、周辺の住民は既存管理棟を撤去して、道路側に新施設を建設することを避けてほしいという思いがある。住民にとって圧迫感がない施設を計画することが大事である。また、既存工場棟を撤去してから新施設を建てるという案も考えられるが、その説明もない。次回以

降にきちんと説明してもらい、議論していきたい。

- ・ **彦根委員** 現在の資料では、出入りについて、町田街道からだけのことを考えているように見えるので、函師方面から入ってくる車両についても考える必要がある。
- ・ **臼井委員** 忠生717号線、忠生781号線の拡幅の予定はないか。
- ・ **田後担当部長** 現時点で717号線、781号線の拡幅の予定はないが、函師方面から来た場合は、指摘のとおり右折になる。現状のように右折して正面入口や忠生717号線に直接入らない方法を検討したいと考えている。検討段階であるため、意見として受けておく。
- ・ **大谷委員** 現在の道路と出入り口は、函師小学校ができる前に考えられたものであり、今は当時と条件が変わってきている。アンダーパスとオーバーパスの考え方はよいと思う。児童の通行の安全を確保してもらいたい。そのことをふまえ、工事を始める前に先行して道路を整備してもらいたいと考える。
- ・ **田後担当部長** このような意見は、環境資源部だけでは対応できない部分である。このような意見を参考にして町田市として動いていきたい。
- ・ **高橋会長** 道路際に建てないように検討してもらえないか。
- ・ **内山部長** 検討エリアで示している部分ぎりぎりまで建物が建つわけではないということではまずご理解頂きたい。既存工場を活かしながら施設を建設していくことで理解してもらいたい。
- ・ **田後担当部長** 次回以降配置を提示する予定をしている。既存工場棟を撤去してから新施設を建てるという意見については、意見交換会や懇談会でも意見があった。町田市としては、市から出たごみについては、自分のところで処理することを原則としている。既存工場棟を撤去してから新施設を建てる場合は、最低でも5年以上は市内でごみ処理が出来なくなり、近隣の市町村にお願いすることになる。費用面等を考えると、町田市としては既存施設を稼働しながら新施設を建設し、建設後に既存工場を解体したいと考えている。既存工場の跡地利用については、近隣住民の意見を聞きながら進めていきたい。
- ・ **高橋会長** その考えについては分からないわけではないが、説明にあった費用や期間等の問題があり難しいとのことであれば、具体的に資料を提示すること。
- ・ **小林副会長** 建屋の規模はどのくらいか。どのくらいのスケール感かわからない。
- ・ **事務局** 熱回収施設としては、50m×100m程度で焼却炉を2炉設置することとなる。不燃・粗大が20～35m×60mくらい、バイオは50m×60mくらいを想定している。検討エリア全部を使うわけではなく、極力敷地の奥側に配置するように検討する。
- ・ **小林副会長** 言葉で説明されてもわからないので、図面で示してもらいたい。
- ・ **高橋会長** 私からも是非お願いしたい。景観等の問題もあるので工夫して検討した資料を提示してほしい。
- ・ **事務局** 次回の地区連絡会でレイアウトを提示する。
- ・ **福岡委員** 何m×何mと言われても、どのように見えるのかわからない。室内プール側から見るとこのような見え方になる、大賀藕絲館からみるとこのようになるなど、住民がイメージできるようなものを提示してほしい。
- ・ **事務局** 次回に、ボリューム感が把握できるモニタージュ資料を提出する様に検討する。
- ・ **篠島委員** 現状の配置図がないので、花の家の場所がわからない。図面に示してある境界線は、花の家が含まれているのか。現状の配置図に、解体する施設や新

たに建設する施設がわかるように示してほしい。

- **田後担当部長** 花の家は新施設エリアに入っているため、敷地外へ移転し、存続することを検討している。花の家の移転が決定すればまた報告させて頂く。
- **篠島委員** こちらから聞かないと情報が出てこないのでは、不信感が生じるので注意してほしい。
- **高橋会長** 今の配置図に新施設エリアを載せて提示すること。花の家にはレストランや花の売り場があり、住民の憩いの場や圧迫感の軽減に役立っている。なんとか、花の家を活かす方針で出来ないのかと考えている。出来ないと説明されてもすぐには納得できないので、活かすためにはこのぐらいの費用がかかる等の納得いく説明をしてほしい。せっかくコンサルがいるのでいろいろな案を検討してほしい。
- **佐藤委員** 室内プールでは、ごみ焼却の余熱を利用していると思うがどうなるのか。また、全体的な構想を聞かせてほしい。それによって、配置等も変わってくるのではないか。
- **田後担当部長** 次回に施設配置や見え方について提示することを考えている。新施設でも周辺施設への温水供給は継続していきたいというのが市の方針である。新施設についても引続き、室内プールや花の家への熱供給は行っていく。具体的な内容は今後の話になるが同じ状態で操業できるような方針としている。
- **小林副会長** 子供たちの交通安全対策だが、現状の道路が出来てから周辺の環境がかなり変わっている。その辺を考慮して、交通安全対策を行ってほしい。また、現状1日あたり収集車がどのくらい往来しているのか。また、今後のどのくらいの台数になるのかわかっているのか。
- **事務局** リサイクル文化センターに搬入している収集車の台数は、パッカー車が約48台/日、資源ごみ収集車（ビン、缶、ペットボトル）が約30台/日、一般の持ち込み車両が平均で約300台/日、事業系ごみの許可業者が約60台/日となる。一般の持ち込み車両については、年末に約500～600台/日となるが、通常300台/日程度である。
- **八木委員** パッカー車が1日あたり48台で動いているということだが、1台が1日あたり何回くらい稼働しているのか。また、延べ台数がどの程度になっているのか、教えてほしい。
- **事務局** 正確な数値は次回説明する。おおまかな数値になるが、燃やせるごみのうち町田市が直営しているものが60台（15台×4回）、委託が144台（36台×4回）となる。燃やせないごみが48台（12台×4回）、資源ごみが30台（30台×1回）となる。剪定枝は市が収集しており、車両はリサイクル文化センターに置いてある。台数は8台（4台×2回）であり、搬入先は小野路町の町田市剪定枝資源化センターとなる。粗大ごみは（一財）まちだエコライフ推進公社で収集を行っており、日によって異なるが10～12台（5～6台×2回）となる。以上が、家庭ごみに関する車両の台数となる。その他に、一般の市民の方の持ち込みが300台、事業系のごみが60台となっている。今後は、資源ごみの収集車が減り、市内全体のごみ量も削減されるため、収集車の1日当たりの出入り台数は減る予定である。
- **北原委員** 工事が始まったら（収集車と工事車両で）車両は増えるので、十分考慮してほしい。
- **田後担当部長** 工事車両については、時間帯をずらすなど、何等かの制限をかけることを考えている。

- ・ **福岡委員** 現在の計画の大前提である40%の削減は大変なことではないか。この2年でどのくらい進んでいるのか。2020年までに達成できる見込みはあるのか。
- ・ **田後担当部長** 現状はプラスチックが燃やせるごみになっている。これをすべて資源ごみにすることで、削減が見込める。また、生ごみについても、水分を切ってもらふことで重量がかなり減る。その他、生ごみ処理機の普及等の活動を行っている。
- ・ **高橋会長** 福岡委員の意見はもつともであり、本当に40%も削減できるのかといった懸念がある。40%削減する目標については、地区連絡会とは別に、ごみ減量推進審議会という場で議論されている。私たちとしては、その審議会で頑張ってもらふしかないと考えている。
- ・ **事務局** ごみ袋を有料化してから、ごみ量削減に効果が見えている。有料化してから数年経過しているため昨年度は若干増えているが、有料化前と比較するとかなり減っている。資源化率は横ばい傾向にある。可燃ごみは平成19年度が約9万4千トン、平成23年度が約8万8千トンとなっており減少している。資源ごみは平成19年度が約2万1千トン、平成23年度が約1万8千トンになっている。その他小型家電の資源化等いろいろ施策を始めており、将来的には7年後に容器包装プラスチックの資源化が始まり、目標の40%削減を達成できるようにしていきたい。
- ・ **内山部長** 家庭系が8割、事業系2割。家庭系は年1～2%減少傾向であるが、事業系は増えているため、今後削減を進めていきたい。家庭系についても資源化率の向上などを進めていきたい。
- ・ **臼井委員** 分別が変わると思うが、いつ頃からスタートするのか。テストケースなど、市民への早目の周知の予定はないのか。
- ・ **内山部長** 横浜線の南側の地域については、リレーセンターみなみに収集しているため、2016年度から先行してプラスチック容器のリサイクルを進めてきたい。その他の地区は2020年度からを考えている。PRは必要であることは認識している。
- ・ **田後担当部長** 2005年の10月からごみ袋の有料化を行った。この際も各地を回ってご説明したり広報などで事前周知をしてきた。資源ごみ収集の切り替えについても十分周知を図っていくつもりである。町会単位などにも説明会をするなども考えている。市としてもこの経験を踏まえて、対応してきたいと考えている。混乱がないように進めていきたい。
- ・ **高橋会長** 有料化の際は（指定袋に入れないと）持って行ってくれないので、みな仕方なくやった面もあるが、分別は燃やせるごみに混ぜても持って行ってくれるので、有料化の際の経験はあまり参考にならないのではないかと。

#### ○議題4 今後の進め方

資料4-1について事務局より説明した。

東京都環境影響評価条例に基づく調査・手続きを来年度から約2年かけて行うが、そのため調査計画書案を、2013年12月には東京都に提出予定である。配置計画の案も、調査計画書案に概略を載せる必要があるため、地区連絡会の開催頻度が高く申し訳ないが、10月から12月まで毎月開催させていただきたい。

第2回連絡会は11月21日（木）、南但視察は11月27日～28日、第3回連絡会は12月19日（木）とする。

- **高橋会長** 視察するバイオガス化施設については、今回の施設計画で検討しているものと同じ設備が導入されており、非常に参考になると思う。次回の地区連絡会（11/21）で具体的な視察スケジュールを示されても、視察（11/27, 28）まで1週間しかない。視察スケジュールは事前に連絡してほしい。
- **事務局** 具体的な視察スケジュールは、次回の地区連絡会（11/21）で資料を配布する予定である。

### 3. その他

「その他 最終処分場旧埋立地分布ボーリング調査」について事務局より説明した。

- **事務局** 町田市最終処分場ボーリング調査の目的は、最終処分場の閉鎖及び跡地の利用に向けて旧埋立地内の埋設物の適正な処理方法の検討及び資料の作成のために、旧埋立地内の廃棄物の種類、埋立量、埋め立ての範囲等の詳細なデータが必要であることから今回調査を行うものである。調査期間については、2013年10月中旬から2013年12月上旬までを予定している。

今後の最終処分場のスケジュール概要案としては、2013年度中に地質調査のためのボーリング調査を行い、来年度は、この調査に基づき、最終処分場の全体の工事の方法や計画をつくる予定である。2015年度には、工事の方法を決定し、最終処分場の全体の工事の詳細な方法について実施設計を行う予定である。

(以下、質疑)

- **高橋会長** 旧埋立地の取り扱いとこの連絡会との関係は、まだ整理がされていないが、地区連絡会でも、旧埋立地の方の状況について、逐次、報告願いたい。

午後8時50分 閉会